

建設物価 建設資材物価指数[®] 2026年6月分 【速報】

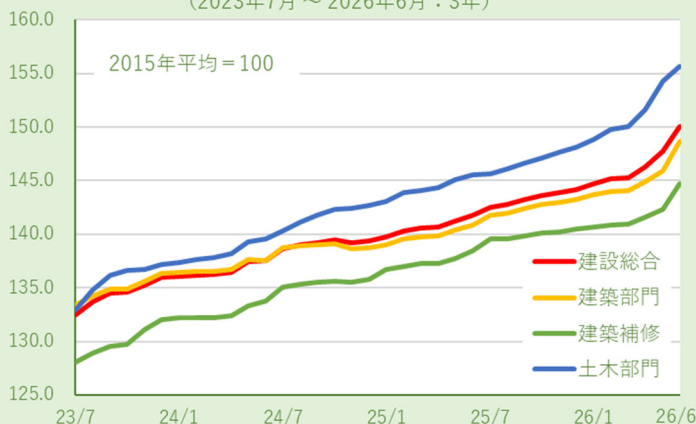
建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

2026年6月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**150.1**となり、前月比+1.5%(+2.3ポイント)と**19カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+5.9%(+8.3ポイント)となった。部門別では、**建築部門**が**148.6**となり、前月比+1.8%(+2.7ポイント)と**19カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+5.5%(+7.8ポイント)となった。**建築補修**は**144.7**となり、前月比+1.7%(+2.4ポイント)と**19カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+4.6%(+6.3ポイント)となった。**土木部門**は**155.7**となり、前月比+0.9%(+1.4ポイント)と**2020年6月以降73カ月連続の上昇**となり、**最高値を更新**した。前年同月比では+7.0%(+10.2ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2023年7月～2026年6月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【電気機械】 配送電機器

今年度導入の新基準への仕様の切替や原材料費の高騰による価格上昇が指数動向のプラスに寄与

【紙・木製品】 屋根防水シート

中東情勢の緊迫化による石油系原材料の高騰により、製品価格が上伸し、指数動向のプラスに寄与

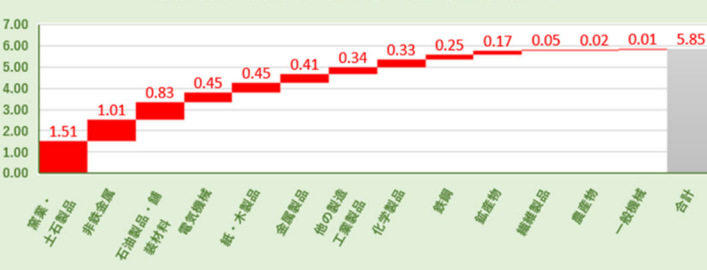
マイナス寄与

なし

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



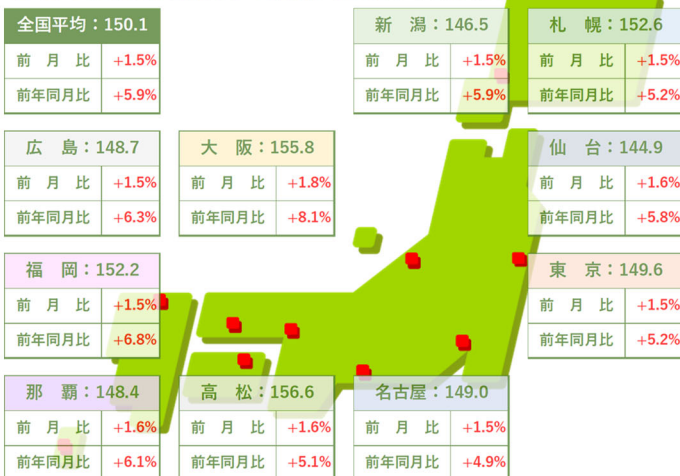
3. 都市別の動向（建設総合部門）

都市別に見てみると、**【大阪】**（前月比+1.8%）では、石油系原材料の供給不安による調達コストの上昇が製品価格にダイレクトに反映し、舗装材料の価格が大幅上伸したことや、原材料費や輸送費の上昇に対し、出遅れ感があった西日本を中心に、異形棒鋼や溶接金網などの値上げが浸透し、指数動向のプラスに大きく寄与した。

【仙台】（前月比+1.6%）でも、異形棒鋼や溶接金網の価格の上伸が指数動向のプラスに寄与した。

【高松】（前月比+1.6%）でも、中東情勢に起因する舗装材料や潤滑油・工業機械用作用油などの価格の大幅上伸が指数動向のプラスに大きく寄与する結果となった。

各地の建設総合部門の指数【2026年6月分】



一般財団法人

建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp